

令和6年

所 管 事 務 調 査 報 告 書

士幌交通公園について

総務文教常任委員会

第1 調査事項

土幌交通公園について

第2 調査の趣旨・目的

昭和62年3月に国鉄土幌線が廃止となったのち、本町の歴史的価値の保存と継承を目的として、「国鉄再建特別措置法に基づく土幌線転換交付金」の一部を活用して駅舎及び周辺の整備を行い、昭和63年12月に貨車・台車などの陳列並びに国鉄時代の物品展示を行う土幌交通公園が完成した。現在、地域戦略課が管理を行っている。

この度の所管事務調査では「土幌交通公園について」と題し、本町の利用状況および管理状況等について調査を行った。

第3 調査対象

調査の対象は、土幌交通公園とする。

第4 調査期間

令和6年6月6日から令和6年7月8日まで

第5 調査の経過

No.	月日	主な調査内容
1	3/8	総務文教常任委任委員会 ○調査項目、調査内容、調査時期等を協議決定
2	5/29	所管事務調査 ○場所 委員会室、土幌交通公園 ○説明員 地域戦略課 小野寺課長・坂井主幹・黒田係長・増田（紀）主任 ○調査事項 土幌交通公園の設置の経過について 公園管理の状況について 利用状況について
3	6/7	総務文教常任委任委員会 ○所管事務調査について、意見集約
4	7/8	総務文教常任委任委員会 ○所管事務調査について、意見集約

第6 土幌町交通公園について

○設置の経過について

大正14年（1925年）12月10日	帯広～土幌間 30.1 km開通、土幌駅開業
大正15年（1926年）7月10日	土幌～上土幌間 8.3 km開通
昭和28年（1953年）12月11日	農協専用線敷設
昭和57年（1982年）11月15日	車扱貨物の取り扱いを廃止
昭和59年（1984年）2月1日	荷物の取り扱いを廃止
昭和62年（1987年）3月22日	土幌線の全線廃止
昭和63年（1988年）12月	土幌交通公園完成

○管理状況について

平成 元年度～ 7年度	町で管理（見学依頼に応じて駅舎施錠管理、普段は自由見学）
平成 8年度～13年度	駅舎管理委託（8時半開扉、17時半閉扉、清掃）トイレ管理委託
平成14年度～ 現在	町で管理（見学依頼に応じて駅舎・トイレ施錠管理、普段は自由見学）
平成22年以降	睦の大風昭次氏が、ご厚意で公園の手入れを始められる。ご夫婦は、直接見学に来た方を気かけながら、駅舎・プラットフォーム管理、敷地内の芝刈りや来訪者への説明を行っていただいている。

※年間予算・基金関係（令和6年度当初）

- ・防除、水道、修繕、消耗品等・・・・・・・・・・・・・約34万円
- ・パートナーシップ推進交付金（地域相互扶助）・・・・・・・・・・・・・6万円
（公園管理として睦町内会へ～芝刈り、清掃活動、害虫駆除年2回
- ・国鉄土幌線代替輸送核所基金残高（令和5年度年末）・・・・・・・・・・・・・66,668,110円
（バス運行費補助及び施設保守管理経費）

※施設改修等

平成25年度	北側ホーム撤去・芝張り、線路撤去、電柱撤去、貨車・上屋根塗装	1,768,200 円
令和 4 年度	プラットフォーム改修及びバリアフリー工事、内装整備	8,580,000 円 (内地域づくり交付金 3,400,000 円)
令和 5 年度	看板設置（交通公園入口、西2線きくや旅館角）	157,000 円
令和 6 年度	芝刈り機（1台）購入	839,300 円

○利用状況について

平成8年から13年頃まで、畳敷に改装された旧駅舎の駅事務室は、近隣住民の方々の集会場として利用された。平成14年度からは、管理受託業者が不在となったことから、町の管理のもと必要に応じて町職員が旧駅舎の開錠等に対応してきた。平成22年度からは、町職員の他、公園の手入れをご厚意で行って下さる大風氏にも来訪者の対応をいただいている。

令和4年度の改修・整備以降、以前に増して多くの鉄道ファンの来訪があり、令和5年度には役場職員で32組の来訪者対応を行った。9月には、中士幌小学校と上居辺小学校の子どもたち計16名が来訪し、職員が公園内の案内と展示物の説明等を行った。

第7 所 感

昭和62年3月に国鉄士幌線が廃止され、翌年12月に整備完成した士幌交通公園は、歴史的価値の保存と継承を目的として駅舎及び周辺整備、貨車・台車などの陳列並びに国鉄時代の物品展示を行っている。以降、貨車・上屋根塗装、プラットフォーム改修、バリアフリー工事、内装整備等を行い来訪者を迎えている。

公園の管理については、管理委託の期間もあったが現在は町が主に行っている。平成22年度からは近隣住民のご厚意で公園の手入れや訪問者の対応をお手伝いいただいている。

来訪者については、旧駅舎の内覧を希望する電話連絡があった場合は開庁時間内のみ開錠を行い、休日等は町民のご厚意で対応をいただいている。令和5年度は鉄道ファンなど32組の来訪者と町内小学生16名に対して職員が案内と展示物の説明等を実施した。平成9年に来訪者によって設置されたノートには、現在まで約210名の書き込みが残されている。

公園の管理は、睦町内会をはじめ近隣住民の方々に携わっていただいております、「協働の精神」に心から敬意を表したい。しかし、持続可能な管理体制を構築することは重要な課題である。

旧駅舎や車両、展示物等を含む施設は、「観光資源」、「文化資源」、「教育の場」といった様々な可能性を持つが、現状で観光拠点とすることは整備経費を考えても難しいと考える。これらの資

料を保存する施設として、展示物等の損壊・盗難対策を十分に行った上で来訪者が自由に観覧できる施設とする等、各課連携の上で理事者の意思を含め早急に検討し、町民の理解を得なくてはいけない。

また、手入れの行き届いた芝の広場についても幅広い世代に利用いただくことが望ましく、イベントの会場として活用することも視野に入れ整備を進めるべきである。

今後、土幌町の歴史を学ぶ貴重な施設、憩いの場所として整備を進められ、更に町内外からの来訪者に親しまれる場所となることを望む。